

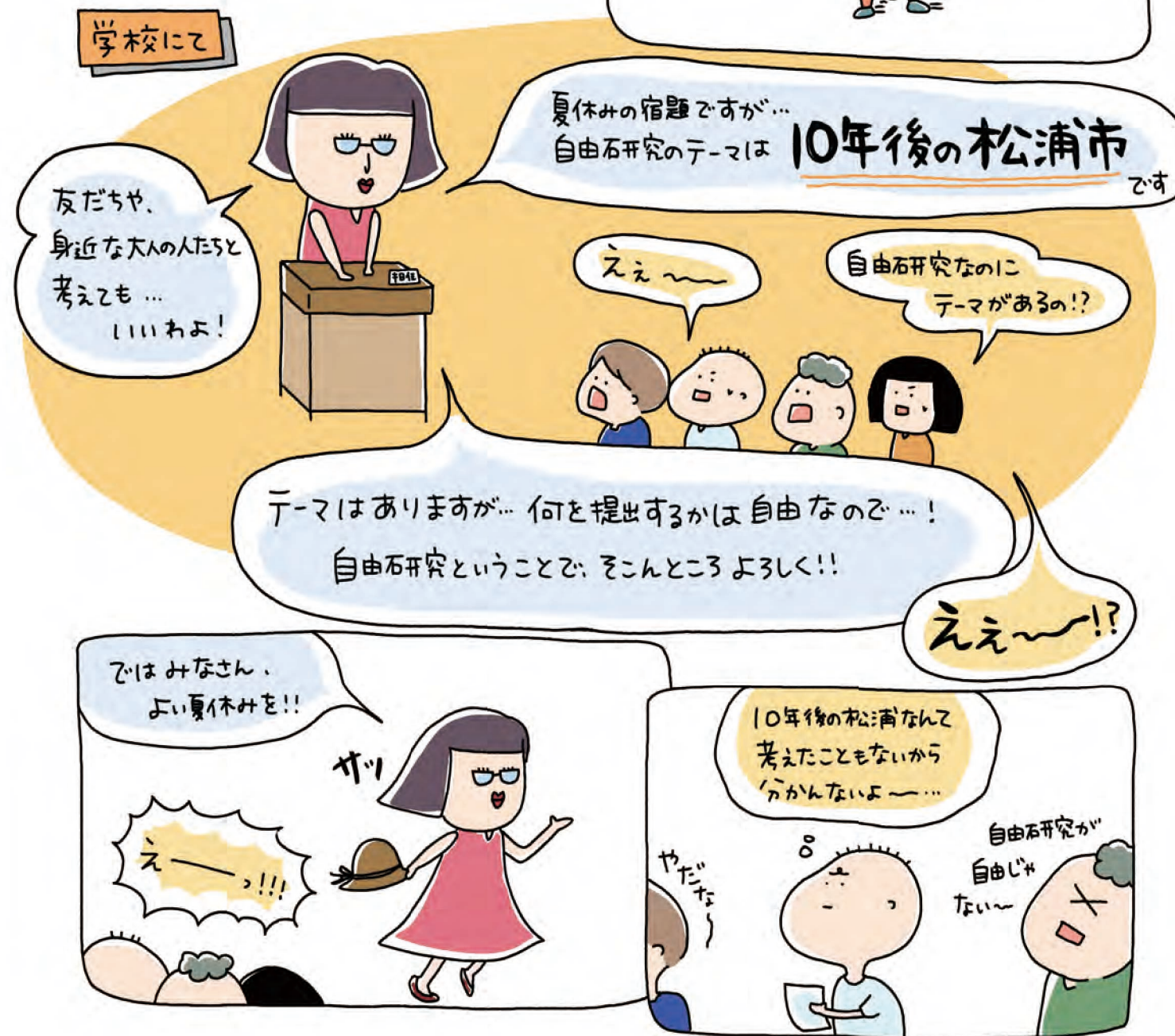


ということだ





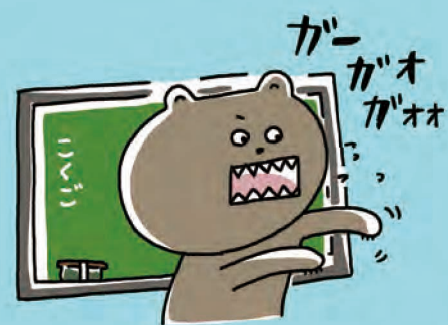
ぼくの名前は「まつうら」。  
名字が「まつ」で名前が「うら」。  
初対面で必ず「下の名前は?」って聞かれる。





うん、でもひとまず考えてみよう  
10年後の松浦...

「ぼくが総理大臣になって  
首都を松浦に!」



種を越えて  
仲よく授業を受け  
られるようになって  
いる!?

先生、  
何を言っているか  
分かりませんゾ

もしかして...



うんち型の家が  
流行ってる!?

うーん

うーん

うーん

いやいやいや...  
そんなわけないか...

もうちょっと真剣に  
考えてみよう...

アハハ...

外国人だらけに  
なっている?



もしかして  
「ぼくが馬R伝 選手に  
なっている...」

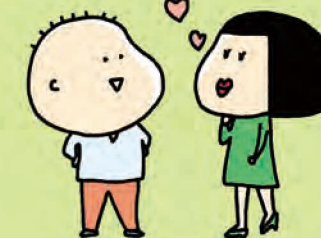


名字が  
まつで  
下の名前が  
うらです!



工場がたくさん...!  
人はどこに住んで  
いるんだろう...

彼女ができていた!



東京に住んで  
いるかも!?



見に来た  
ただだよ



うーん  
でもなァ...

すく

10年後に  
変わってないと  
だめなのかな?



このままの松浦でも  
いいんじゃないかなァ...



そんなことを考えていると、  
おばあちゃんがやってきた。

うら君、  
おかし買ってきたから  
一緒に食べよう

あーい!!  
食べる!

はい  
どうぞ

ありがとう

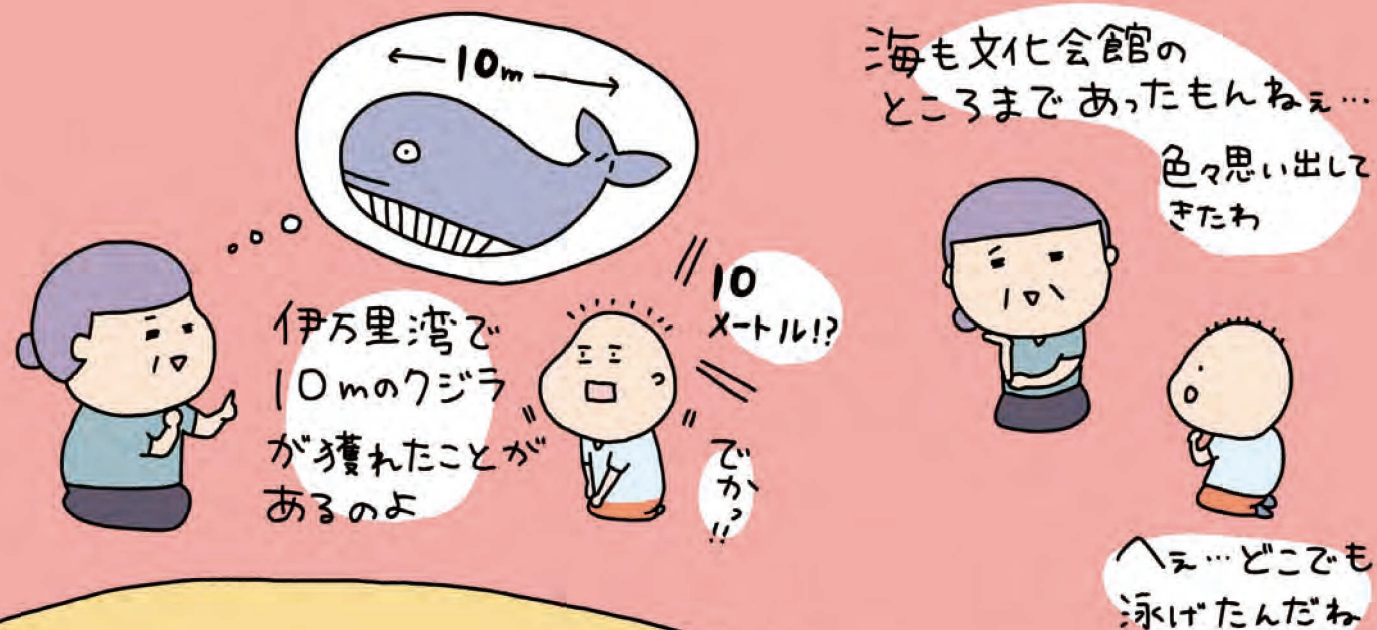
ねえねえ、  
おばあちゃん、  
10年後の松浦、て  
どうなってると思う?

10年後かねー?  
10年後はよく分かんけど  
昔の松浦は昔でよかったねエー

どんなまちだった?  
教えて!

そうねえ...





あ!!

たしか炭鉱ごとに  
病院と映画館が  
あった気がするわ

すごいね!  
今より都会  
みたいだね!

おじいちゃんよく映画を  
みに行ってたわ~



そうそう!  
私が小さい  
ころ、福島に  
1万人 住んで  
いたらしいわ

小学生も  
800人  
いた時期が  
あったのよ

昔、たーくさんの村があったのよ  
松浦・福島・鷹島が  
合併して  
今の松浦市  
になったのよ

こんなに  
たくさん!

御厨村・星鹿村・言周川村  
志佐村・上志佐村・今福村  
福島村・鷹島村

どんどん思い出して  
きたわ!!  
まだまだいけるわよ!

おばあちゃんの  
スイッチが入った!

どこからでも海が見えてきれい  
でね。農作業中に泳ぎに行く人も  
多かったのよ。

今じゃ考えられない!

海がオレを  
呼んでいる~!

どこ行く  
じゃ~

女家いできた 新嫁さんの  
尻を叩くという伝統行事が  
あったの。

どんな意味があるのかな...



海水浴場のそばに馬場が  
あって別荘もたくさんあったわ。

そういえば「別荘入口」という  
交差点があったんだよね。

昔は蒙古襲来もあって  
怖かったんじゃよ~

あれもこれも  
あったわ~

え、  
だれ!?

あれ!?  
いなくなった

まあ、そんなかんじよ

はじめとき  
きはざかり!  
ありがとう!

だれ  
だったの  
かな